

業務報告書

台湾機器人與智慧自動展(TAIROS)における 商談会開催及びブース出展に伴う報告書

【概要】

台湾機器人與智慧自動展(TAIROS)に合わせて、現地での商談会を開催した。また、同展示場のブースを商談会の受け皿、関係機関との打合せ場所、サンプル展示の場所として活用し、単発の商談会ではなく展示会開催中の継続的な商談・交流機会の創出を図った。

※台湾機器人與智慧自動展(TAIROS)

台湾の自動化機械・ロボット技術における最大の展示会。主催者は「台湾智慧自動化與機器人協會」(通称ロボット協会)。

会 期：2017年9月6日(水)
～9月9日(土)

会 場：台北 南港展覽館

規 模：22,680 m²・約700小間

来場者：87,060人



■参加企業・参加項目

	9月5日	9月6日	9月7日	9月9日	9月9日
A社		サンプル持込→ 営業先訪問	サンプル展示・ 商談会参加	サンプル展示	サンプル展示
B社		レセプション参加	協力団体打合せ・ 商談会参加		
C社		レセプション参加	商談会参加	協力団体訪問	カタログ展示
D社			協力団体打合せ・ 商談会参加		
E社	搬入	展示 レセプション参加	展示	展示	展示

業務報告書

【商談会概要・結果】

台湾関係機関と共催で商談会を開催。

会場は南港博展館 5 階 504 会議室。

日本側の参加企業は合計 9 社。うち大田区企業は 4 社。

1 回の商談は 30 分、計 19 件の商談を行った。

(うち可能性の商談は 7 件)



	A 社	B 社	C 社	D 社	合計
商談件数	4	6	5	4	19 件
うち可能性の高い商談	2	3	NA	2	7 件
成約	0				0 件
成果	見積の約束、有意義な交流を得られた	後日、面談の約束をした あまり成果はなかった	NA	有意義な交流を得られた	

【所感】

商談会は盛況で参加企業の満足度も高い印象を受けた。商談件数は 4 社合計で 19 件、うち可能性の高い商談は 7 件 + α (※1 社アンケート未提出)。参加企業のアンケートから見ると、2 社は取引拡大に加え、台湾市場の調査も目的としていた。展示のみの形で参加した企業と、商談会のみ参加した企業は現地代理店を通して製品がすでに販売されていて、市場を更に拡大することを主眼に置いていた。企業ごとの「海外」「台湾」の捉え方、進出レベルは大きく異なる。自社で市場開拓を行える企業には、細かいフォローを行うよりも、今回のような機会を最大限に活用してもらうことが有益だ。一方「これから」の企業、調査段階の企業には、懇意にしている機関や企業の紹介、関連情報の提供など、具体的なフォローを継続的に行っていくことが肝要である。